

難聴理解授業指導案

八尾市立安中小学校
指導者 大原 正子

1. 日時・場所 令和4年 11月8日(火)
第6時限(午後2時35分～3時20分)
2年1組教室

2. 学年・組 2年1組(男子22名 女子16名 計38名)

3. 教材名 ・なんちょうのお友だちのことを知ろう。
・楽しく手話を学ぼう。

4. 教材目標
・耳の聞こえにくいお友だちとの話し方の工夫を考える。
・簡単な手話に親しむ。

5. 児童観

本学級の児童はとても多様で、外国から直接編入した児童、不登校を克服しようと、週に何時間かの登校にチャレンジしている児童、支援学級(「ひまわり」「難聴学級」)に在籍する児童(7名)など、配慮を要する児童が多い。日頃、それぞれの児童に個別対応をしているが、クラス全体的に見ると、それを自然に受け止めているようである。素直な児童が多く、よいことを素直に喜び、明るい雰囲気がある。しかし一方でとても幼いところがあり、今何をすべきか考えにくく、静かにしないといけない場面でいつまでもしゃべっているなど場面の切り替えがうまくいかないこともある。

2人いる難聴学級児童は比較的軽度で、座席や背の順を前のほうに配慮しているので、授業中聞こえにくい場面は少ない。しかし、グループ活動などざわざわした場面では、聞き取りづらいときがある。2人にとって聞きやすい環境をつくるために静かにすることや、声のコントロールが必要だと理解することは、本学級の1つの課題でもある。

6. 指導観・教材観

耳が聞こえない・聞こえにくいことは、外見から非常にわかりにくい障がいである。安中小学校では、「耳が聞こえない・聞こえにくい」ということがどういうことであるか、「難聴学級とは?」、「聞こえにくいお友だちと気持ちよくコミュニケーションをとるために知ってほしいこと」を、全児童に、毎年理解授業を行っている。(別紙)また、教職員には年度当初に、理解研修を行っている。

児童へは、発達段階に応じて「聞こえない・聞こえにくい」人がいる、という基本的なことから、学習を広げていくのだが、内容を繰り返し押さえて、大切なことの意味が深まるように構成している。特に低学年から、「色々な子がいて、それぞれに合わせた関わり方があるのが当たり前」という意識を育てることは大事である。難聴の児童に限らず、わからない時にはみんなが安心して「わからない」と言える環境があれば、そしてコミュニケーションの方法を知っていれば、互いに心を通わせることができると考えている。

手話には、“ものの姿や形から生まれた手話”“動きや様子から生まれた手話”“語源が特定されない手話”さまざまな表現がある。本学習では、2年生であることを考慮して、イメージしやすく1年生の時に漢字で学習した“ものの姿や形から生まれた手話”に親しませる。

例年であれば、本時の学習後さらに、日曜参観で各クラス担任が授業をし、保護者へも難聴理解の啓発をするのだが、今回はコロナ感染予防のため、第2時を通常授業で実施する。

7. 指導計画（全2時間）

日時	時	主な学習内容
11/8（火） 6H	1	・耳の聞こえにくいお友だちと話す時 ・楽しく手話を学ぼう 一本時
11/8（水） 5H	2	・耳の聞こえにくいお友だちと話す時（復習） ・てくてく手話であいさつ ・手話漢字かるた

8. 本時の授業計画

学習活動	指導上の留意点	準備物
1. 難聴とは何かを知る。 ・補聴器・人工内耳について知る。 ・コミュニケーションの方法について考える。	・クラスの難聴児童の生活で、日々大切にしていることを思い出させる。 ・どんな方法でも、しっかり話そうとする気持ちが大切であることを押さえる。	
2. 簡単な挨拶の手話を学ぶ。 ・“てくてく手話であいさつ”のゲームをして、学んだ手話を楽しく使う。	・色々な友だちと関わるようにながす。	カード シール
3. 手話漢字かるたで、1年生の漢字の手話を学ぶ。	・物のすがたや形からできた、イメージしやすい手話から学べるようにする。	掲示用の手話漢字かるた グループごとの手話漢字かるた
4. まとめ ・今日の感想を書く。	・早く書けた児童に発表を促し、感想を書きにくい児童が参考にできるようにする。	

9. ご高評価欄

学年	月	教材名	内容・ねらい	用語
1年	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・なんちょう学級を見学しよう →<u>なんちょう学級について知ろう</u> ・耳の聞こえにくいお友だちと話すとき ・手話で表そう 「あいうえおのうた」 	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴学級と通常学級の教室を比べ、そのちがいをを見つけ、その理由を知る ・正面から、目を見て、ゆっくり、はっきり、大きな声で話すとよいことを知る ・耳の聞こえにくい人が使う「手話」という言葉があることを知る 	難聴補聴器 手話
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・支援交流会 「手話に親しもう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴学級の友だちから手話を教えてもらい、ゲームやクイズを通して手話に親しむ 	
2年	11月	<ul style="list-style-type: none"> ◎参観にて ・耳の聞こえにくいお友だちと話すとき ・てくてく手話であいさつ ・手話漢字カルタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・正面から、目を見て、はっきり、大きな声で話すとよいことを知る ・あいさつ(おはよう・こんにちは・こんばんは)の手話を覚える ・漢字の手話に親しむ 	難聴補聴器 手話
3年	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんちょう」って ・ほちょうきについて ・なんちょうのお友だちと話すとき 気をつけること ・「なんちょうカルタ」クイズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器について知る ・耳が聞こえにくいとどんな事が困るかを 知り、自分たちができることを考える 	難聴補聴器 手話
4年	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・指文字を学ぼう (朝の会の時間 火・水・木・金) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手話に50音を表すものがあることを知り、指文字に興味を持つ ・自分の名前を指文字で表し、自己紹介ができる。「私・ぼくの名前は～です。」 	難聴手話 指文字
	11月	◎音楽会にて 手話コーラス	・音楽に合わせ、手話で生き生きと表現する	
5年	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・「聴覚障がい者」の気持ちを考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい者の「あるあるマンガ」を見て、どんなことが困るのか想像し、自分たちにできることは何かを考える 	難聴聴覚障がい者
6年	2月	<ul style="list-style-type: none"> 「耳の聞こえない人の思いを知り、自分の生き方を考えよう」 ※ゲストティーチャー 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい者(ゲストティーチャー)の体験談、卒業に向けてのメッセージを聞き、自分の生き方を考える一つの機会にする 	難聴聴者(健聴)ろう聴覚障がい者聴覚支援学校(ろう学校)
全学年	12月	手話集会 <ul style="list-style-type: none"> ・難聴学級からの発表 ・実行委員による手話の指導 ・全校での手話コーラス 	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴学級と難聴児童について理解を深める ・手話を通して、さまざまな人とのコミュニケーションをとろうとする ・発表を通して、友だちのがんばりを認め合う 	手話コーラス